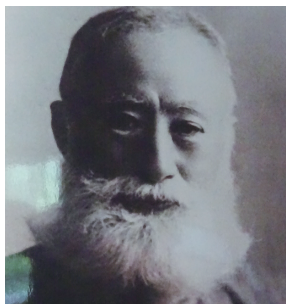


那須の歴史
再発見!

那須町と 近現代の人々

vol.18



山田英夫 (1875-1945)

6月号は前月号に続き、山田顕義の遺志を継ぎ、地元の人々に「殿様」と親しまれた、山田英夫を紹介します。

山田英夫は明治8年、会津藩9代藩主松平容保の3男として誕生しました。兄弟に外交官・宮内大臣、初代参議院議長として活躍した松平恆雄、姪に秩父宮妃勢津子殿下、甥に福島県知事を務めた松平勇雄がいます。

明治16年、英夫は東京の学校に通うため旧会津藩家老山川浩宅に預けられ、秋月悌次郎などに学びます。明治29年、陸軍士官学校を卒業すると、明治37年に勃発した日露戦争では、乃木希典の副官として従軍しました。有名な乃木希典とステッセルの「水師営の会見」の写真にも英夫の姿があります。その後、近衛歩兵

第2連隊大隊長などを歴任し、最終的に陸軍歩兵中佐で予備役に編入されました。

明治39年、英夫は山田家の法定相続人となり山田家を相続すると、同年に山田顕義の一人娘・梅子と結婚しました。この結婚には杉孫七郎や井上馨の働きかけがあったといい、後年英夫は乃木希典に言われ養子になったとも親戚に語っていたそうです。

英夫は、山田家を相続すると他の那須野が原の華族農場主とは違い、在地地主として直接農場経営に携わりました。小作人との関係も良好であり、小作人が窮状を直訴した際には「一年くらい小作料をとらなくてもよい」と答えたといえます。黒田原の地域住民と良好な関係を築いた英夫の精神は、長男顕貞に引き継がれ、戦後山田家の土地は、那須中央中や那須高校の敷地として提供されました。

英夫は、会津と長州をつなぐ立場にありながら激動の時代を生き抜きました。東京の松陰神社には、英夫が奉納した石灯籠が現在も残されています。

ます。また黒田原には山田資料館があり、山田家と黒田原の関わりを知ることが出来ます。この機会に英夫の足跡を訪ねてみるのもいいかもしれません。

(写真は「水師営の会見」より、英夫は3列目右から2番目)



かつこう

「丈夫な歯が生えてきますように」子どもの頃、そう言って抜けた乳歯を屋根の上へ投げたことを覚えていてます。先日、息子の上の乳歯が抜けたので、あの頃を思い出し、今度は床下に投げ入れようと家の外に出ました。「あっ、ない」そこには、全面コンクリートで塗り固められた基礎があるだけで、投げ入れる隙間は見当たりません。

「どこに投げるの？」私は少し考えて「穴、無いね。じゃあ、投げるといいますか。取っておこうよ」と言いました。以前、歯科医院で乳歯を抜いたとき、小さな歯の形をしたケースに入れてくれたのを思い出したのです。申し出は、意外にもすんなり受け入れられ、乳歯はそのまま保管することになりました。最近では、抜けた乳歯を思い出して取っておく人も増えており、保管するための専用の乳歯ケースもあるとのことです▼令和

3年度那須町のむし歯のある子どもの割合(有病率)は、3歳児で14・29%でした。徐々に下がってはいないものの、決して低い数字ではありません。むし歯は「歯の質」「細菌」「食べ物」の3つの要因に「時間」の経過が加わり発生します。生涯にわたり、健康で丈夫な歯を保つために、小児期からむし歯予防の生活習慣を身に付けることが大切です。丈夫な歯を願うとともに、むし歯のないきらピカ歯をつくる工夫を続けたいものです。

こんにちは 赤ちゃん

令和4年11月生まれ

わた なべ なぎ
渡邊 凧くん

なぎくんは…
いつもニコニコ笑顔の次男です。

「こんにちは赤ちゃん」コーナーの写真を随時募集しています。詳しくは企画政策課広報広聴係(☎72-6935)まで。



町の世帯と人口

(5月1日現在・住民基本台帳) ()の数字は前月比

・世帯数	10,730世帯 (+43)	出生	4人 (0)
・人口	24,213人 (+22)	死亡	28人 (- 18)
	男 12,046人 (0)	転入	125人 (- 52)
	女 12,167人 (+22)	転出	78人 (- 54)
		その他	1人減

広報那須がスマートフォンなどで読むことができます



マチイロ

